

於いて良かったと思っていますが、もっと掘り下げ、敷衍して、創氏改名に代表される皇民化政策とからめて在日韓国、朝鮮人問題全体を取り上げられなかったものかと残念でしたが、今後に期待しようと思っています。国際平和を口にするなら、大国との関係も大切ですが、善隣友好関係が大切なのは論を待ちません。その為には、私はこの隣国の歴史や文化や言葉を日本人はもっと勉強する必要があります。少なくとも学校では、もっと重点的に教えるべきです。又、日本のマスコミも、もっとこの隣国の情報を意識的に流すべきです。その意味では、遅ればせながらも、5年程前から、NHK（日本放送協会）で、この隣国の言葉を「ハングル」講座と名付けて開設したことは1つの前進だと思っています。でも、それまでこの隣国の言葉の講座がNHKに無った方がやはり異常といえます。このような環境下ですから、韓国に対する日本人の反応は両極に分かれているようです。一方の極は、まだ多いのですが、戦前からの教育の「成果」によるところの韓国無知・蔑視派です。他方は私もそれに属するのかも知れませんが、コリアホリック（Koreaholic—韓国が好きでたまらない人）と言われる人で、これはまだ少数派のようですが、着実に増えているようです。歴史的には、豊臣秀吉の時代や明治以降現在に至る一部の時代を除けば、朝鮮通信使に対する接遇の例等にみられるように、日本人の多数派がコリアホリックであった時代の方が圧倒的に長いようです。つまり、歴史的には日本にとって朝鮮半島は大陸の文化を吸収する「大陸の乳房」であった訳で、この意味からも、日本人はこの隣国を好きになる素質を持っていると言えます。私は今回のソウル国際大会を期にロータリアンの中にコリアホリックが多くなり、善隣友好が深まることを祈念いたしております。

昭和63年度 三条北ロータリークラブゴルフ同好会

ゴルフコンペ成績表

第8回 5月12日（柏崎CC）優勝・本間茂男 準優勝・米山忠俊

第9回 6月9日（大新潟CC三条コース）優勝・鈴木英友 準優勝・堀川正幸

第10回 6月20日（鬼怒川CC）優勝・斉藤 正 準優勝・米山忠俊

第11回 7月21日（大新潟CC出雲崎CC）優勝・堀川正幸 準優勝・本間茂男

（11回コンペは梨本会長就任記念のコンペです）

見附、三条北合同コンペ 10月20日（大新潟CC三条コース）

優勝・皆川正一郎（見附） 準優勝・濱 潔（三条）

第12回 1月26日（高崎サンコーCC）優勝・吉川吉彦 準優勝・斉藤 正

9月18日、水上プリンスホテルゴルフコースでのコンペは、ロータリークラブ東部IGFが当日三条にて開催されたため中止となりました。ゴルフ同好会メンバー募集中!!/年会費 2万円、コンペ年6～7回開催予定。

5月23日例会： 国際大会参加の為、通常例会はなしで記帳のみ受け付けします。

5月30日例会： 早朝例会 極楽寺 午前7～8時



三条北ロータリークラブ週報

PUT LIFE INTO ROTARY — YOUR LIFE

ロータリーに活力を—あなたの活力を

国際ロータリー会長 ロイス・アビー 第256地区ガバナー 榎内悌三郎

例会日

1989. 5 . 16

累計 No 123

当年 No 44

会長／梨本清一

幹事／今井克義

SAA／米山忠俊

例会日／火曜日 PM12:30～1:30

例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111

事務局／三条市西四日町3-15-34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160

行事： 自己紹介卓話：山口龍二君、外山晴一君

出席： 本日の出席 47名中34名

先週の出席率 47名中40名 85.11%

先週のメイクアップ： 5月11日 名瀬RCへ 山口龍二君

5月15日 三条南RCへ 早川滝雄君

ビジター：三条RCより 近藤雄介君 山浦日出夫君 佐久間洋一君 野水文治君

五十嵐総一郎君 高橋一夫君 斎藤弘文君 大谷幸平君

熊倉昌平君

三条南RCより 吉田秀治君 韭沢喜一郎君

会長挨拶： 梨本清一

愈々今週末、ロータリー国際大会、ソウルへの出発であります。わがクラブは会員17名、夫人5名、計22名の多数の参加であります。これは私の知る限りでは近隣RCのうち最大規模の筈です。別に数を競って満足しているわけではありませんが、本年度わがクラブの会長指針の活動目標に皆さん全員がご協力いただいているお陰であると、新らためて心より感謝申し上げる次第であります。本年度は、北RCの国際奉仕元年にしようということで、具体的活動としては、昨年8月のJICA作戦の展開であり、そして只今のソウル大会への積極的参加でありました。会員拡大も予定通り達成出来ましたし、会長としては大満足で本年度の幕を閉じられそうであります。そう言えば、JICA作戦の時に本間（建）君宅にお世話になったキムさんはどうしておられるでしょうか。確か、ソウルだと記憶しておりましたが、出来ることならお会いしたいものですね。また地区を通じてのロータリーの友人である、オムさん、ヤンさんにもお会い出来ると思います。ロータリーで知り合った個人と個人がこうやって友好を深め合うことが、国際理解であり世界平和の礎であり、これが即ちロータリーの国際奉仕というものだと思うのです。話は変わりますが、今ふるさと創生の1億円の使途でさまざまな話題がとりざたされております。三条市も広く市民から意見を聞くそうで

ありますが、私は三条市が市民と一緒に展開するJICA作戦を提唱したいと考えております。ハードは行政、ソフトは市民であります。ソフトとは産業の交流、文化、スポーツ、児童生徒の教育まで含めたものであります。それからJICAは東南アジア、中近東の発展途上国であります、私の提唱する対象は全世界各国が対象であり、技術指導することから、こちらがされることも含めたギブアンドテイクのものであります。詳細の内容はソウルから帰って来たらゆっくり煮つめたいと考えております。

幹事報告： 今井幹事

◇ロータリー記念奨学会より「よねやまだより」と寄付金明細書（1988, 7～1989, 3）が届いております。

◇ネバダ州立大学とネバダ州リノロータリークラブでは第8回サマー体験学習参加者を募っており、そのプログラムが参っております。

◇日本芸術振興会から芸術鑑賞とイベント企画の際の演目内容の案内が来ております。

ニコニコBOX：

羽賀一夫君 三条祭りの天狗様無事歩き終わりました。精進期間中は女房のおしりが特においしそうに見え、せつなかったです。

紛川昭蔵君 何があってもニコニコボックス

山口龍二君 ・バースディケーキに〇〇〇をこめて3くち。

・久しぶりのホームクラブ、ほっとします。2くち。

石田孝行君

卓 話：山口龍二君



昭和53年の独立創業以来、早いもので今年で12年目に入りました。独立以来、「有言実行」をモットーに、言葉に出して自らにプレッシャーを掛け、前進してまいりましたが、創業丸十年で年商約15億の体制迄来れましたのも、常に一所懸命の姿を、お得意様に御理解戴けたからと思っております。㈱タツミの主力商品としては、金融公庫指定の住宅接合金具の他に、住宅基礎鉄筋ユニットのスーパーベースがあります。又、近年国内指向の高まりの中で需要が増えてきたユニットバスに付随する架台やジョイントフレームの製造にも力を入れています。「流通の下請けとしてのメーカー」を会社方針に、徹底して作ることに専念。設備投資を先行しプレスラインの自動化、溶接のロボット化、钣金加工のNC化等、職人不足と生産性の向上に対応してまいりました。又、扱い品目別に㈱タツミ・ケイ・マックハードウェア㈱協立金属㈱と、分離独立させ、それぞれの責任者に大幅に権限を委譲して責任を持たせ、グループ内で切磋琢磨できる体制を作っています。現在では、松下電工のユニットバスパーツの七割強を生産し、業界大手四社とも取引を行っており、この部門では、国内トップメーカーとなることができました。又、建

築金物の分野でも市場の四割弱を確保、更にシェアを伸ばす為にも、技術力、製造力、価格力の体制アップを計り、流通業がメリットを感じるような企業にすることが、今後の課題と考えております。私が常日頃社員に対して言っていることは「お客様には夢を売りなさい」ということです。タツミと取引をしていれば安心だ。メリットがある。何か面白いことがありそうだと、そんな夢を売るということです。この事は同時に社員に対しても言えることで、社内、外を問わず、夢のある会社にすることが、これからの私の仕事と考えております。

「韓国について」外山晴一君



来週、韓国のソウルでロータリーの国際大会が開かれ、我がクラブよりも、私も含め何人かの人がこれに参加されるということです。韓国について私の思いを述べさせていただきます。昨年のソウル・オリンピックを契機に、随分日本に韓国の情報が入って来るようになり、それ以前に比べ幾分近く感じられるようになって来ましたが、やはり韓国は多くの日本人にとっては、まだ近くて遠い国のようです。それは近代の両国間の不幸な歴史による所が大きい訳ですが、現在に至っても、なお、正さぬ我が国政府の文教政策とそれに追随していると思われる日本のマスコミの報道姿勢に起因するところの日本国民の韓国に対する無知から来る偏見によるものが多いと言えます。まず、我が政府の文教政策ですが、この隣国のことは、ほとんど教えずしまいです。その「お陰」で、私達日本人の多くはこの隣国の歴史的出来事や英雄や文化人の名前をほとんど知りません。米国やロシアを含む西欧諸国や中国のそれらに関する知識に比べると異常とも言える「無知」状態です。ましてや韓国人の立場に立った歴史的なものの見方は全く教えられておりません。ですから、日本人の多くは、最初、韓国に行くときと文字とともに、この歴史的なものの見方の面からもカルチャーショックを感じるようになるようです。例えば、韓国人にとって、歴史上の人物で嫌いな人というのは豊臣秀吉や伊藤博文がまずあげられます。対するに、尊敬する英雄はというと、この秀吉軍を敗った季舜臣（イースンシン）や、伊藤博文を射殺した安重根（アンジュンゲン）が一般的にはあげられます。日本では伊藤博文はお札にもなった「偉人」で、彼を暗殺した安重根はテロリストとして、教科書では欄外扱いですが、韓国では切手にもなっている国民的英雄です。切手と言えば「コリアのジャンヌダルク」と言われている3.1独立運動の柳寛順（ユウカンスン）も同じく切手になっている国民的英雄ですが、日本のでのその知名度はジャンヌダルクと比べるべくもありません。特に日本が、この隣国を植民地にしていた「36年間」の間の歴史的事実について、日本の学校では全くといってよいほど教えられておりません。ただ「1910年、日韓併合」とだけ記載されている教科書が多いようです。ですから例えば、創氏改名といった韓国人にとって大変屈辱的な事が行なわれたという日韓の歴史を考えるに際して大変重要な事実ですら、残念ながら若い日本人はほとんど知っておりません。最近、テレビなどで、サハリン残留韓国、朝鮮人の事が報じられ、遅まきながらもこの問題に日本人の関心を集めたという点に